

令和4年第1回総務文教常任委員会 概要報告

年 月 日	令和4年2月9日	会場	第1委員会室	案件	所管事項の調査
出席委員	高橋伸典、山崎真由美、黒井徹、佐藤靖、清水一夫、遠藤隆男				
委員外議員	なし				
欠席委員	なし				

所管事務調査について

【1】教育行政の推進について

1. 名寄市立学校設置条例の一部改正について
提案内容について説明があった。
2. 「令和3年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査」における実技に関する調査結果の概要について
小学校男女・中学校男子は、全国と比べて成果がみられた。中学校女子は、全国と比べ課題がみられた。
3. 令和4年度第1回定例会補正予算の概要について
提案内容について説明があった。
4. 名寄中学校・名寄東中学校耐力度調査結果
耐力度を「構造耐力」×「健全度」×「立地条件」で表した結果、10,000点満点中、名寄中学校は校舎南棟3,289点、校舎中央棟2,884点、校舎北棟5,980点、屋内運動場3,936点であった。名寄東中学校は校舎中央棟4,372点、校舎南棟3,709点、屋内運動場5,023点であった。ともに構造耐力が低い建物である。

<質疑等>

- Q 名寄市耐震改修促進計画では、名寄中学校、名寄東中学校の2棟について耐震性が不十分な状況にあり、令和7年度までにおおむね解消することに努めるとしているが、教育部としての認識と今後のスケジュールは。
- A 喫緊の課題と捉えているが、生徒数の推移、建設コスト等数値を集め整理している段階である。スケジュールは、庁内の議論を加速させ、速やかに示せるよう方向付けを行う。
- 意見 子どもの命を最優先に、教育委員会の中でしっかり議論していくことを求める。

【2】総合政策部所管事業について

1. 名寄市体育施設の管理に係る関係条例の整備に関する条例の制定について
スポーツ施策の一元化を行い、より効果的かつ効率的な市民サービスの向上による施設利用者・スポーツ参加者の増加を目指すとともに、スポーツによるまちづくりを目指すため、名寄市営球場条例のほか、体育施設に関する12本の条例の一部改正を行う。
2. 名寄市公共施設等再配置計画策定状況について
各施設の効果的配置とコンパクトなまちづくりを推進するため、2022年から2051年までの30年間を計画期間として策定する。

<質疑等>

- Q 名寄市耐震改修促進計画との整合性は。

A 図書館、児童センター、学生寮、生活支援ハウス、ワーケーション施設の5施設の計画案であるが、関連づけていく。

Q 名寄中学校、名寄東中学校の改修により、公共施設の配置が変わる可能性は。

A 医療施設、教育施設は外して計画している。配置が変わることはない。

意見 優先施設との関連性をもって計画をする必要がある。

3. 名寄市総合計画アンケート結果について

総合計画後期計画策定に向けて、課題の整理と市民ニーズの把握を目的に、令和3年10月29日から11月26日までアンケート調査を行った。結果、前回から満足度が向上した項目は6項目、満足度が低下した項目は18項目であった。

4. 宗谷本線名寄高校駅セレモニーについて

3月12日(土)13時20分から、テープカットや愛称の表彰など、セレモニーを行う。また、前日には地域主催で東風連駅記念イベントを行う。

5. Nスポーツコミッション「なよろ健康レシピ開発プロジェクト」について

北海道味の素株式会社、名寄市立大学コミュニティケア教育研究センター、Nスポーツコミッションによりプロジェクトを発足、「食・健康・スポーツ」をテーマにしたレシピの開発を行った。

野菜たっぷりのチキングラタン、12品目の中華丼は2月11日から発売される。

6. 総合政策部令和4年第1回定例会提出補正予算について

提案内容の説明があった。

【3】名寄市立大学の運営について

1. 名寄市立大学の現況について

(1) 学生の就職活動について

令和3年12月1日現在の内定率は、栄養学科80.0%、看護学科93.0%、社会福祉学科74.0%、社会保育学科83.0%であり、令和4年2月1日現在の内定率は、全体として90.4%である。

(2) 学生生活に関する各種支援について

国からの10万円の給付金のほか、市民からは米やレトルト食品、日用品などの支援があった。

(3) 令和4年度一般選抜入試志願状況について

前期日程では、栄養学科2.4倍、看護学科3.2倍、社会福祉学科1.8倍、社会保育学科1.1倍、後期日程では栄養学科9.8倍、看護学科14.4倍、社会福祉学科14.6倍、社会保育学科7.4倍となっている。

2. 大学院及び助産師課程の検討について

これまでに大学院・助産師課程設置検討会を13回開催、この間の検討経過を教授会に6回報告してきた。

大学院の教育課程は、健康科学研究科健康科学専攻(仮称)で、修士(栄養学、看護学)が取得可能となり、入学定員を10名程度予定している。標準就業年限は2年とする。

助産師課程は、保健福祉学部看護学科助産師課程を教育課程とし、助産師国家試験受験資格の取得を可能とする。募集定員は4名とする。

<質疑等>

Q 大学院設置に関わり、修士論文指導教員の状況は。

A 教員の状況を考え1専攻科とした。教員確保に向け可能性を探る。

3. 令和4年第1回定例会提出補正予算について
提案内容について説明があった。

【4】総務部所管事業について

1. 名寄市における押印見直しの実施について

「名寄市規則で定める申請書等における押印の特例に関する規則」を策定し、印を省略することを可能とする。同様の規程を告示、訓令、その他委員会規程等においても制定する。名寄市広報3月号及び名寄市ホームページで市民周知を行い、令和4年4月1日から施行する。

2. 令和4年第1回定例会に係る総務部提出補正予算について
提案内容について説明があった。

【5】公共交通について

常任委員会で視察を予定していた広島県広島市と山口県周南市（コロナウイルスまん延防止等重点措置を受け視察を断念）の公共交通について郵送により届いた資料と、地域における公共交通の現状のまとめを配布。次回2月14日に常任委員会を開催し、研修を深める。また、スクールバスの運行規程や運行状況について、担当者に説明を求める。